

**5月6日(水・振) 14:00 エコーホール
 エコーホールピアノメンバー第6回演奏会
 「ア・ピアチェレ」**

優れた音響特性のエコーホールで外国製フルコンサートピアノを使用して、練習を重ねたメンバーの成果発表。

自由 【発売中】一般500円 友の会 450円
 学生(大学生以下) 無料(チケット要)
 ※チケットはひこね市文化プラザ窓口のみ取扱いします
 ※未就学児入場可

**5月28日(木) 10:30 メッセホール
 「ベビーといっしょにコンサート」**

0歳から親子で楽しめるコンサート。童話・唱歌・手あそびなど

自由 【発売中】一般500円 友の会 450円
 未就学児無料(ベビーカーで入場できます)

**6月7日(日) 16:00 グランドホール
 Kiroro コンサート 2015**

「長い間」「未来へ」「Best Friend」...

あなたの心に染み渡る歌声をお届けします。

指定 【発売中】残席わずか
 一般 5,500円
 友の会 5,000円
 高齢者・障害者
 ・学生(大学生以下) 5,200円
 ※未就学児膝上無料。
 席が必要な場合は有料



**6月30日(火) 昼公演14:00 夜公演18:00 グランドホール
 宝塚歌劇星組全国ツアー公演**

ミュージカル・ロマン『大海賊-復讐のカリブ海- 作・演出：中村暁
 ロマンチック・レビュー『Amour それは...』作・演出：岡田敬二



指定
 【発売中】残席わずか
 一般
 1・2階 S席 7,300円
 2階 A席 5,500円
 友の会・学生(大学生以下)
 ・障害者・高齢者
 1・2階 S席 6,570円
 2階 A席 4,950円
 ※未就学児入場不可

©宝塚歌劇団

ひこね市文化プラザ **友の会会員募集中!** 詳しくは☎26-8601へ
 ひこね市文化プラザ **サポーターズ(運営ボランティア)募集中!**

5月の休館日 7日(木)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

**7月18日(土) 昼の部12:30 夜の部16:30
 グランドホール**

松竹大歌舞伎



◆**演目**
 一. 河竹黙阿弥作 天衣紛上野初花「河内山」
 二. 「藤娘」長唄囃子連中
 「芝翫奴」長唄囃子連中

指定 【発売中】
 一般 一等席 7,000円 二等席 5,000円 三等席 3,000円
 友の会 一等席 6,500円 二等席 4,500円 三等席 2,500円
 学生(大学生以下)・障害者・高齢者
 一等席 6,700円 二等席 4,700円 三等席 2,700円
 ※未就学児入場不可

**5月31日(日) 14:00 メッセホール
 松竹大歌舞伎プレセミナー**

7月18日(土)開催の「松竹大歌舞伎」公演に先駆け歌舞伎の基礎知識や上演演目の見どころなどをわかりやすく解説します。

【出演】葛西聖司(アナウンサー・古典芸能解説)

自由 【発売中】一般500円 友の会 300円
 ※未就学児入場不可

早得!

5月30日(土)までに「松竹大歌舞伎」のチケットを購入された人は、プレセミナーに100円で入場できます(本公演チケットを提示ください)。

**9月12日(土) 17:00 開演 16:30 開場
 グランドホール**

平原綾香 CONCERT TOUR 2015~Prayer~

23都市 29公演にわたる全国ツアー「平原綾香 CONCERT TOUR 2015 ~Prayer~」が6月からスタート。ミュージカルや洋楽カバーで魅せた圧倒的な歌唱力と表現力に、誰もが感動の涙を流した。~Prayer~...その言葉は平原綾香に相応しい。心を込めてお届けする珠玉のステージをお楽しみください!

指定
 【6月6日(土)発売】
 一般 6,800円
 高齢者・障害者・学生(大学生以下) 6,500円
 【発売中】
 友の会 6,120円
 ※未就学児入場不可



【各公演 発売初日の予約の取り扱いについて】
 ※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
 ※窓口でのチケット引き取り・販売は開演日から承ります。

◎表記のチケット価格は、すべて税込価格です。
 ◎高齢者は65歳以上です。学生、高齢者、障害者はひこね市文化プラザチケットセンター窓口のみの販売となります。証明できるものをご本人が提示してください。

幻の百間橋

ときの玉手箱

博物館からのメッセージ



第224回

石田三成の佐和山城時代に松原内湖に架けられた百間橋は、当時、石田には過ぎたるものが二つあり、橋の左近に百間の橋と謳われたと伝わります。佐和山城の中でも、特に優れた存在と思われていたことがわかります。佐和山城の歴史は古いですが、城郭として最も整備されたのは、石田三成が城主になった文禄四年(1595)以降の工事のことです。領民が広く動員され、城郭や城下町が築かれました。百間橋が造られたのもこの時でした。

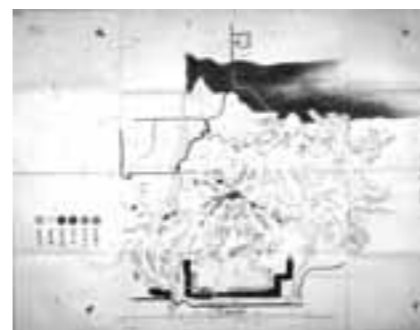


写真1 沢山城城之絵図

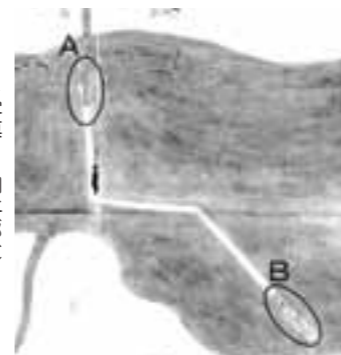


写真2 同上部分
 A 百間橋 B 百間橋への大道

この時でした。しかし、江戸時代になり、佐和山城が廃城となると、百間橋も姿を消しました。同時代の記録は皆無なため、その様子は江戸時代の絵図などから考へるしかない状況です。廃城になってから百年以上経った江戸時代中期、彦根藩では佐和山城の遺構を絵図に記録しました。沢山城之絵図(写真1)は、江戸時代中期の佐和山城跡の景観を描いたもので、佐和山城時代の遺構は「〇〇跡」と書き込まれています。この絵図から、山麓に二重の堀が掘られ、その内側に米蔵・馬屋などの施設、侍屋敷、町屋などがあつたことがわかります。内湖の対岸に位置する松原には蔵屋敷があり、山麓には平地が少なく、

この絵図から、山麓に二重の堀が掘られ、その内側に米蔵・馬屋などの施設、侍屋敷、町屋などがあつたことがわかります。内湖の対岸に位置する松原には蔵屋敷があり、山麓には平地が少なく、

十分な用地が確保できなかったため、城域の拡大を狙ったのでしよう。佐和山西麓と松原を往来するために築かれたのが百間橋です。絵図からは「百間橋」が大黒川の河口付近に架かっていたこと、百間橋の佐和山側は清涼寺正面のあたりから「百間橋への大道」があったことが読み取れます(写真2)。

ここで注目すべきは、松原側の「百間橋」に対し、佐和山側は「大道」と表現が異なっている点です。ここから考えて、両者の構造は異なっており、その表現から見て、松原側は橋状の構造物であったのに対し、佐和山側は内湖の湿地上に板を渡すなどして通行できるような道であった可能性がわかります。

また、明治初期の古地図によると、内湖の中心に細長く「百間葎」という葎の生えた一角があつたことがわかります。位置および形状から見て、百間橋から大道へのルートに合致しているようです。百間葎の浅瀬を利用して湿地上を歩けるようにして、そこから松原側に橋を架けたのでしょうか。そもそも、百間とは約180メートルのことです。

トルのことですが、松原から清涼寺までは1キロメートル近くもあり、ます。「百間」と呼ばれるからには、ちよつと百間ではなくとも、それをイメージできる距離のはずです。松原から百間葎までの橋ならば200メートル程度だったでしょうし、百間葎はちよつと百間ほどの長さなので、これが当時の名称であれば、百間葎に架けた橋ということで百間橋と呼ばれた可能性もあります。いずれにせよ、人目を驚かすような巨大な構造物が造られ、それがわずか数年で使われなくなり、姿を消したことも相まって、百間橋は人々の記憶に残り、後世に言い伝えられたのでしよう。

明治以降、松原には欄干に「百間橋」と記された橋もあつたようですが、本来の橋を継承するものではありません。同じ名前を付けたことからも、百間橋への思慕がうかがえます。(彦根城博物館学芸員 野田浩子) 彦根城博物館は6月1日(月)に再オープンします。